

なきごえ



1973

2

大阪市
天王寺動物園協会

私達ときりん

松岡恵爾

天王寺動物園に初めてきりんを迎えたのは、新しく南園を開設するための拡張計画が、本決りになった昭和8年5月でした。

そのときのきりんは、おすがキン、めすがリンと云う愛称で呼ばれていました。この2頭のきりんは、入園後1年位で死んでいます。当時は、今のように南園は整備されていなかったの、今の中央門の付近で、急造の動物舎に収容されていたようです。第2回目はワンジラ（おすが）、ルル（めすが）と呼ばれた2頭のきりんが、昭和16年8月に入園しています。

記録によると、昭和16年8月5日、今技国太郎納入と記るされてあります。その価格が何んと15,000円です。

当時の大学出の学士さんの初任給が、60円位でしたから、月給の2.50倍と云う大変高価なものでした。現在の大学卒の初任給50,000円として、現在のきりんの価格120万円とを比較して見ると、大変面白い物価の変動が分ります。（昭和9年～20年、入園料、大人15銭、小人5銭）

ワンジラも、又短命で、翌年の昭和17年5月に相次いで死亡しています。このときのルルは、剥製として保存されたのですが、余り背が高いので、室内に立てたまま収容が出来ず、旧剥製室に横たえたまま保管されていました。このために、湿気を吸収し過ぎて、補修が出来ないくらい破損していましたので、残念ながら処分されました。当時の技術で、よくこれまでも立派なものと感心させられました。

ルルの剥製が出来上がった頃から、戦争もようやく激しくなり、空襲に備えて猛獣の脱出などが議論される時代となり、そして、終戦、引継いだ戦後の混乱期もあって、随分長い間きりんにお目にかかることができませんでした。第3回目のきりんは、戦後もようやくおさまった昭和28年10月11日です。神戸の



（昨年生まれたキリンの赤ちゃん2頭）
中央が死んだリンコ

極東貿易によって、おすが、めすが、2頭のきりんが入園したのですが、これまた不幸なことに、おすがが1ヶ月後に死亡しています。その補充が31年になされていますが、何れも短命に終わっています。

きりんは大きいので、アフリカからの船旅は、デッキで過さねばなりません。デッキに立ったまま、有名なインド洋の三角波を乗り越えてやって来るのですから大変です。動物商の話では、5頭積込んで、2頭元気に着いたらまあまあだということですから、きりんにとっては、生死をかけた日本への船旅といっても過言ではありません。マストのように背高のつぼのきりんは船ゆれをまともに受けなくてはなりません。

少し余談になりますが、アフリカの野生の映画などで、さいやぞうなどには、麻酔銃が打ち込まれる画面が出てきますが、きりんにはそのような場面が全くないのをお気づきですか？きりんは背が高いので心臓が強力に働かないと、頭のとっぺんまで血液を送り上げることが出来ません。しかし、その強い圧力のままでは軟かい脳細胞がたまりません。きりんにはこれを巧みに調節する装置があるのですが、麻酔をかけると、この装置も麻酔して役に立たなくなります。ですからきりんに、全身麻酔をかけることは、死を意味するわけです。このように背が高く、遠くが見えて都合の

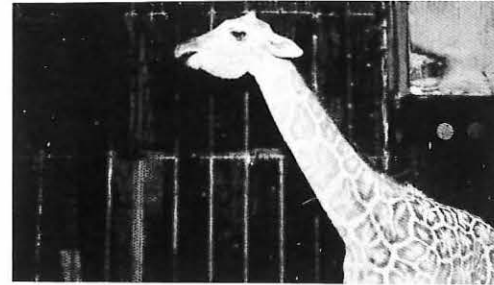
よい反面、宿命的な弱点をも持っているきりんの長い船旅の苦闘を、想像してやって下さい。

さて第5回目のきりんは、昭和34年5月23日同じく神戸の極東貿易によって、お目見えすることになりました。このカップルは、見るからに若々しい2頭でした。

そして私達のしんげんな努力に答えて、すくすくと育ってくれました。昭和37年頃から愛の微候が現われ、昭和39年5月、入園後5年目で、飼育の皆さんお苦労さんといわんばかりに、元気にキリーを産み落してくれました。思えば永かった30有余年に亘る私共の夢を正夢にしてくれたのがこのタカコです。

表紙の写真説明

“ビントロング”
東南アジアの深い森の中にすんでいます。全身真黒の毛におおわれていて、尾が長く、ものにまきつけることができ、木のぼりがうまい。夜行性動物で、昼は木の上でねていることが多い。



（病気のリンコ：あごが腫れている）

キリーは流産しているの、確かではありませんが、メリーも生まれてから5年目で出産していますので、きりんは4才で成獣となるのが良くわかりました。

タカコの2番目の子のリリーは、牛にときどき発病する、放線菌症を罹って死亡しました。又、一番目の子キリーの子リンコも、放線菌症のため、昭和48年1月13日に死亡しました。どうやら放線菌症は、きりんの幼児の大敵のようです。この病原菌は広く散在していて、藁や牧草などが歯ぐきをつき刺したときに、たまたま菌が附着していると発病の原因となるのですが、幼いきりんが早い時期に、親の餌に興味を持ちすぎて、牧草などをしがみ過ぎるといけないようです。担当の泰松係員は、なるだけながく乳だけを飲んで欲しいといっています。

リリーもリンコも、全く同じような経過をたどって死亡しました。薬を予防のために、熱気消毒することも出来ないの、大変困った問題です

また、タカコの子が皆んなめすがであったように、その子（つまり孫）もまた、めすが多いようで、非常に珍らしいきりんの一家です。なお、タカコの褐色の斑点が深いところも、子に引き継がれて遺伝しています。

さて、タカコの死が、ビニールの胃内停滞と云うことになっていますが、これは私達には悲しい思い出の一つです。タカコは非常に育児の上手な母親でした。第3児のメリーを産んでから、タカコは、メ

ッカリ痩せ方が目立つようになりました。いろいろ検査が行なわれましたが、そのことごとくは（一）で、何の手がかりもつかめず、私達も途方にくれて仕舞いました。

それでも一生懸命に、メリーには乳を与えつづける痩せこけたタカコを見るにしのびませんでした。

昭和43年7月1日早朝、栄養失調のために、ふらふらになったタカコが、足もとをすべらして横転したはずみに、頭部を水槽にぶつけたのがもとで、頸骨骨折を起して死亡しました。

解剖をして、その胃内に驚くばかりのビニールが出て来たときには、私どももあ然としました。

もともときりんは、ビニールは食べないのですが、お客からお菓子をもらいます。又、お菓子を包んだビニールは捨てられます。風に吹かれたビニール袋は、きりん舎にはいらいます。きりん達はこのビニールにお菓子の香りがするので、食べてしまうことになります。

ビニールは藁と異って、胃液に逢うと逆に堅くなります。何とも何とも反芻をしても、きりんの歯では噛み切れないので、大きままですから、第3胃の方には絶対移動出来ず、次々と胃に停滞してゆきます。

このことで、きりんはいつも満腹感があり、食事も細ります。又、胃壁に附着して、胃の機能をさまたげるので、胃潰瘍の原因となります。きりんが長い舌をペロリと出して、お菓子を食べるのが面白い

ので、皆様方がよくお菓子を与えられますが、再びタカコのようにならないために、皆様方の協力をお願いします。



（タカコの胃の中から出てきた）
（ビニールのかたまり）

（天王寺動物園、主査）

現在のきりん



今まで入園したきりん

- S.8年5月6日 入園
- ♂キン
- 第1回 ♀リン S.9年死亡
- S.16年8月25日 入園
- ♂ワンジラ
- 第2回 ♀ルル S.17.5.9. 死亡
- S.28年10月11日 入園
- ♂ S.28.11.16. 死亡
- 第3回 ♀ S.32.12.22. 死亡
- S.31.7.25. 入園 ♀
- 第5回 S.32.1.4. 死亡

なきごえ2月号もくじ

- 私達ときりん……………2・3
- 動物園グラフ……………4・5
- 動物記者の目……………6
- 動物園ニュース……………7

動物園グラフ

“クロヒョウの人工哺育”

昨年、11月2日に生まれたクロヒョウの赤ちゃん2頭を、人工哺育しました。おすの方は、10日ほどで惜しくも死にましたが、めすは、現在、元気に育っています。よくなれてじゃれついてきます。まだ小さいのに、とてもすばしっこく、さすが“密林の殺し屋”の子ではあると思わせませう。



↑ 生まれて2日目に、親から引きとりました。母親が初産で、お乳のやりかたをしらなかったからです。体はつめたくなっていたのですが、お乳をやると、よく飲みました。(生後7日目)



← 運動のため、1日1回、外を散歩させています。育ての親の三浦さんに大変なついて、ジャレたりしてあまえるのです。

→ ジョットものを見せる金色の目に、猛獣の片りんがうかがえます。(生後70日)



↑ 時々、頭と体を低くじっとかまえ、パッと飛びかかっていきます。獲物をとる練習をしているのですね。



← めすだけが生きのこり、どんどん大きくなりました。散歩につれ出すと、飼育係のあとについて走ってきます。(生後28日)

→ もう離乳をはじめ、ミンチ肉を食べはじめました。(生後40日)



12・1月の動物園日記

- 12/26 プレイリードッグ1頭が、野猫に咬み殺されてしまいました。
- 27. この年の9月13日生まれの子のキリンの赤ちゃんが元気なく、あごの下が急にはれてきたのです。薬を与えたりしていますが、赤ちゃんキリンはどうもうまく飲まないのです。
- 28. リスぎの寄付がありました。
- 29. タヌキ1頭の寄付がありました。
- 30-31. 年末大掃除のため休園しました。
- 1/1 トラの赤ちゃん2頭が生まれました。正月早々おめでたいことだと大喜びです。
- 2. キリンの赤ちゃんの顎のはれがひいて、乳ものんでいま

- すので安心しました。
- 4. アシカの1頭がやせてきて弱っていますので、別の部屋に移して看護しています。
- 6. リカオンの1頭が足をいためていますので、薬を与えたりしています。
- キリンの子の動作がまた不活発となり、鼻の部分汚れたりして、体の調子が悪いようです。
- 8. クロエリハクチョウが抱卵中でしたが、ふ化日を過ぎてもかえりませんでした。調べますと、4個のうち1コはひなができていたのに、死んでいました。他の3コは、無精卵でした。
- キリンの子は、急速に状態が悪くなり、薬をなめさせたり、けんめいに手当しています。

- 10. ジャッカルの子の交尾が見られました。
- 11. サイのおすが右後肢が悪いのか、びっこをひいていましたので、治療することにしました。
- 12. キリンの交尾が見られました。
- 13. サイのおすのびっこは、体の不調からくるものらしく、食欲不振や尿が極端に少なくなり、獣医と飼育係が、徹夜の看病にあたっています。
- キリンの子は、いろいろ治療をしましたが、夜になってついに死亡しました。翌日、府立大学農学部病理学教室で、解剖してもらいました。
- 15. セイランが、正月早々産卵していますので、ふ卵場にふ化を依頼することにしました。
- 17. サイの経過は良好で、飼育係をほっとさせました。

- 18. キタキツネ1頭が、頭のあたりをなかにまにかまれ死亡しました。
- 19. カモシカ園に、野犬3頭が飛び込み、ホロホロチョウ、インドクジャク17羽が、殺されてしまいました。しかし、シカたちに、被害がありませんでした。
- 21. ヌートリアカが死産しました。
- 22. 先日の野犬侵入のため、クロカモシカの赤ちゃん(おす)1頭が、おどろいて逃げ回ったとき、壁にあたったのか、歯がおれたり、足をいためたりして食欲がなくなり、ついに死にました。
- 23. ボンネットザル1頭が、肺炎のため死にました。

動物記者の目

◇私は動物園記者一年生。ひまにまかせて園内をブラブラ散歩しながら勉強中である。愛するチーターのアクロバットや、カバの大きなあくびなど、なかなか退くつしない。ただ困ったことに各動物の生きたちや出生地、エサ……といった資料の少ないこと。必要に応じて百科辞典を繰ればよいようなものだが、上野動物園とならび称される天王寺。「これくらいの資料はあってもいいのでは……」と思う。

二年ほど前、娘を連れてきたことがある。たしか二歳だった。「勉強のために」とわざわざ休日をついやしたのだが、この娘、園内に散らばっているアイスクリーム、キャラメルのおき箱などにばかり目がゆき、親をがっかりさせたことはなほだしかった。しかし、この娘も文字が読めるようになり、そのときに「天王寺動物園百科」のようなものがあればきっと喜ぶと思う。

身勝手な話のようだが、動物園も貴重な教育の場である。どの親もこういった資料を望んではいないだろう。オリの前に絵と出生地を記しただけのものではあまりにも味気ない。

(F 生)

◇11月14日、きょん、生産、収入5万円。1月13日、キリン、死亡、支出90万円—動物異動報告の抜すい、プラス、マイナスの数字で片付けられる動物の生死にゾッと悪感が—

動物たちと人間の夢をはぐくむはずの動物園で、やれ入場収入がふえたとか、大人り袋が出たとか、「ゼニ」にまつわる話ばかりが幅をきかせがち。

もっとゆったりとした気持ちで、ソロバン勘定抜きに楽しい動物園構想でも練ったらー。

(M.M)



ペリカンやつる、コウノトリの群れるフライイングケージを見ていると、だれもが平和だなあ—とつくづく思うはずである。

◇パンダ、パンダで明け暮れる上野動物園。ここ天王寺動物園でも「パンダが欲しかった」、「何か目玉があればなあ—」といった声があるに違いない。しかし、動物園はデパートではないのだ。当り前の動物が当り前の格好をして当り前に並んでいる。それでいいのだと思う。市内中央部に場違いの様な緑をたたえ、静かに立っている天王寺動物園。訪れる人も決して多くはない。子供連れの夫婦、杖をついた老人、たまに見かける若い恋人達。それらの影がゆるやかに流れ、何事もなかった様一日が終わる動物園の日々。人混みの中でかい間見るパンダよりも、ライオンの昼寝姿が子供には楽しいに違いない。動物に目もくれず、語り尽した男と女に恋が芽ばえたのかもしれない。そんな子供、そんな若者たちのために動物園はあればいいのだと思う。大都会の一面に金勘定の毒々しさ、騒音とけんそう、そういったものと無縁なだけだるいロマンの場があってもいいと思う。

(K.M)

動物園ニュース

〈天王寺動物園入園ご案内〉

☆開園期間及休園

3月～10月 午前9時～午後5時
11月～2月 午前9時～午後4時30分
◇閉園30分前で入園券の発売を終わります。
◇休園日は12月30、31の2日間です。

★トラの出産



トラの赤ちゃんが、元旦の朝に生まれました。元旦早々のうれしいニュースが園全体に流れ、新年と二重の喜びがかさなりました。現在、トラ放飼場が

明日のくらしのコンサルタント



アベノ店



上本町店



奈良店

3月14日 奈良近鉄百貨店オープン！近鉄西大寺駅前に登場した日本で初の本格的なショッピングセンターの中で新しい感覚のファミリーデパートとして 多彩な催しをくりひろげます

つねに新しいくらしのイメージをお届けする近鉄百貨店 品揃えは勿論のことゆきとどいたサービスで 皆さまをお迎えいたします 身近かなコンサルタントとしてぜひご利用ください



TEL. アベノ(06)621-1231 / 上本町(06)779-1231 / 奈良(0742)33-1111

剖してもらいました。その結果、からだのあちこちに病気を持っていたことがわかりました。なお、キリコちゃんの方は、順調に発育しています。現在、キリンの家族は4頭です。

—— 動物好きのみなさんにおねがい ——
「キーウイ」のエサにミミズをください!!
万国博のとき、ニュージーランドからおくられた「キーウイ」のエサになるミミズを動物園では、園内で養殖していますが、今年は繁殖が少なくて困っています。どうか、ミミズを寄贈(きぞう)して下さるか、ミミズのたくさんいるところを、下記のとこまで教えて下さい。
(大阪市天王寺動物園 TEL 771-8401-2)

おもちゃ動物園(こどものりもの) | 1回 | 10円～20円

※その他 協会売店(飲食物の販売)
入園記念メダル、団体入園写真等

☆交通

- 市バス 動物園前下車(南門正面)
- 地下鉄 御堂筋線動物園前下車徒歩3分
堺筋線恵美須町下車徒歩5分
- 国鉄 天王寺駅下車公園内徒歩10分
- 近鉄 阿倍野橋下車
- 南海 恵美須町駅下車徒歩5分

動物記者の目

◇私は動物園記者一年生。ひまにまかせて園内をブラブラ散歩しながら勉強中である。愛するチーターのアクロバットや、カバの大きなあくびなど、なかなか退くつしない。ただ困ったことに各動物の生



もっとゆったりとした気持ちで、ソロバン勘定抜きに楽し

子どものための 動物のふしぎな世界

●全4巻 春・夏・秋・冬

- 園児から小学校低学年向きです。
- オールカラー160頁・B5判・上製本
- 各巻定価1,300円/セット価5,200円

子どもに動物に対する深い興味と、親しみを与える本書は、春・夏・秋・冬の季節別に活動する動物の生態の不思議さや、人と動物との心あたたまるふれ合いなどのエピソードを集めたものです。きっと子どもと動物たちの間にすばらしい世界がはじまるでしょう。

●お近くの書店・百貨店で求めください。 **ひかりのくに**



キリン、死亡、支出90万円一動物異動報告の抜すい、プラス、マイナスの数字で片付けられる動物の生誕にゾッと悪感が一動物たちと人間の夢をはぐくむはずの動物園で、やれ入場収入がふえたとか、大人り袋が出たとか、”ゼニ”にまつわる話ばかりが幅をきかせがち。

のかけられない。そんな子供、そんな若者たちのために動物園はあればいいのだと思う。大都会の一面に金勘定の毒々しさ、騒音とけんそう、そういうたものと無縁なだけだろいロマンの場があってもいいと思う。

(K.M)

動物園ニュース

〈天王寺動物園入園ご案内〉

☆開園期間及休園

3月～10月 午前9時～午後5時
11月～2月 午前9時～午後4時30分
◇閉園30分前で入園券の発売を終わります。
◇休園日は12月30、31の2日間です。

☆入園料

大人 100円
中学生以下 無料

ただし、6才未満の幼児については、保護者(成年人)の同伴がなければ入園できません。

◇団体 30人以上 1人 90円
50人以上 1人 80円
100人以上 1人 70円

◇中学生以下の学校団体の取扱いについて

入園日に出札口で、備付の動物園使用料減免申請書に引率者(代表者)が、所定の事項を記入、捺印(校印でなくても可)の上、申請下されば附添の先生は無料扱いとします。この手続きは当日に限りです。父兄(P. T. A.を含む)は有料です。

☆駐車場使用料

バス 1台2時間ごとに 1回 200円
乗用車 〃 1回 100円

◇入園される方の専用駐車場で、入園されない方の駐車は、お断わりします。

〈動物園協会よりお知らせ〉

○ご入園者の皆様の便宜を計るため、下記業務を経営しておりますので、せいぜいご利用下さい。

区分	数量	利用料
手荷物預り	1コ	50円
うば車貸出	1台	70円(保証料200円)
車椅子貸出		無料(5台あるだけです)
天王寺動物園えほん(2種)	1冊	120円
カラーえはがき(2種)	1部	100円
おもちゃ動物園(こどものりもの)	1回	10円～20円

※その他 協会売店(飲食物の販売)
入園記念メダル、団体入園写真等

☆交通

市バス 動物園前下車(南門正面)
地下鉄 御堂筋線動物園前下車徒歩3分
堺筋線恵美須町下車徒歩5分
国鉄 天王寺駅下車公園内徒歩10分
近鉄 阿倍野橋下車 〃
南海 恵美須町駅下車徒歩5分

★トラの出産



トラの赤ちゃんが、元旦の朝に生まれました。元旦早々のうれしいニュースが園全体に流れ、新年と二重の喜びがさなりました。

現在、トラ放飼場が工事中で、おやともどもお目見得していませんが、工事が終る3月末から、親子のかわいい姿が見られると思います。赤ちゃんは2頭ですが、性別はまだわかりませんが、性別はまだわ

かりません。あまり産室をのぞくと、母親が興奮しますが、順調な発育を示していると、飼育係が報告しています。

★キリンの赤ちゃん死ぬ



1月13日の晩、昨年9月12日生まれのキリンの赤ちゃん、リンコがついに倒れました。

昨年末から、あごが腫れ出し、鼻もつまって大変苦しうにしていた。獣医や、飼育担当者が夜もつききりで治療していましたが、お正月頃は、一時経過がよく、腫れもひいてほっとさせていたのです。

10日すぎからまたもや、思わしくなくなり、ついに死んでしまいました。正月、トラの出産で幸先よいスタートでしたが、10日あまりでガクリと打撃を受けてしまいました。このキリンは、生まれたときから難産の末に生まれてきたり、生れてからも何か発育が悪く1月前に生まれたキリンちゃんに比べると、角の立ちかたも大変遅れていました。

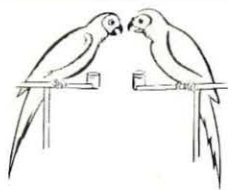
翌14日に、府立大学農学部の獣医学科病理学教室で、解剖してもらいました。その結果、からだのあちこちに病気を持っていたことがわかりました。

なお、キリンちゃんの方は、順調に発育しています。現在、キリンの家族は4頭です。

→ 動物好きのみなさんにおねがい ←

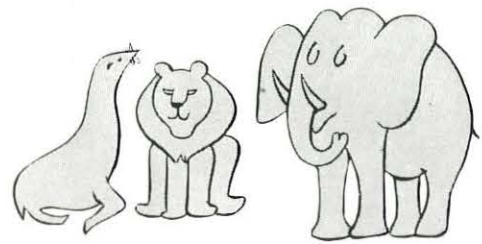
「キーウイ」のエサにミミズをください!!
万国博のとき、ニュージーランドからおくられた「キーウイ」のエサになるミミズを動物園では、園内で養殖していますが、今年は繁殖が少なくて困っています。どうか、ミミズを寄贈(きぞう)して下さるか、ミミズのたくさんいるところを、下記のところまで教えて下さい。
(大阪市天王寺動物園 TEL 771-8401~2)

なきごえ 昭和48年2月15日発行 (毎月1回15日発行) 第9巻第2号 (通巻91号)
 編集 / 大阪市天王寺動物園 電話 大阪 (06) 771-0201
 発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳 振替口座 大阪 37823
 印刷所 / 株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



全糖

●合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイナップル・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円

編集委員 <入口富夫・林邦彦・大野尊信・加幡一男・米田敏光・樽本勲・田上勝・中川道朗・農本武志・松岡恵爾・深井和美・東政宏>